



令和5年7月16日発行
熊本県立湧心館高等学校

今月のテーマ「夏の災害の脅威」

夏の災害としてまず考えられることは、**台風・豪雨**でしょうか。近年、夏季に台風が日本列島を直撃し、多くの被害をもたらすことがとても多くなっています。台風によって深刻な**洪水**や**土砂災害**などの被害が広範囲で発生するケースもあり、その脅威は年々増しています。



しかし、注意すべきは台風だけではなく、突発的な竜巻の発生や、積乱雲の発達によるいわゆる「**ゲリラ豪雨**」による洪水もまた、夏に起きやすい自然災害のひとつとして数えられるようになりました。

そして、日本列島は年中地震の脅威にさらされています。地震調査研究推進本部の「全国地震動予測地図 2018 年版」によれば、東京都庁の周辺で今後 30 年以内に震度 6 弱以上の揺れに襲われる可能性は 48%もあり、首都直下型地震や南海トラフなどで起こるとされる巨大地震の脅威が叫ばれています。（ちなみに、熊本県錦町では昔から「地震がきたら竹やぶに逃げろ」と言い伝えられています）

もし、夏にこれらの災害に襲われた場合、一次被害もさることながら深刻な二次災害が懸念されます。高温多湿の夏に被災地で電力の供給が止まってしまうと、熱中症による被害や食料保存ができないことによる食糧不足が起こるでしょう。

つまり、夏は備えなければならない災害が多い上に、夏特有の二次災害に対しての備えも必要とされる「防災シーズン」ということになります。

「夏に向けた防災のチェックポイント」

極度の高温多湿である日本では、熱中症対策はもちろんのこと、用意した非常食や飲料水が傷みやすくなることにも注意が必要です。まずは、夏の熱中症対策グッズが十分かどうか確認し、飲料水だけでなく塩分も重要です。経口補水液、スポーツドリンク等の飲み物は備えがあれば万全です。

また、飲み物と同様に、エアコンがない状況でも体を冷やせるようにするための備えも重要です。うちわや冷却シートなどを十分に用意しておけば、電力供給がストップした状態でも暑さをしのぐことができるかもしれません。特に、非常食などに関しては、保管場所に気をつける必要があります。



「火災は外へ、洪水は高いところへ」の基本どおり行動し、**自助⇒共助⇒公助**を理解・実践して、二次災害につながらないようにすることが大切かもしれませんね。

【記憶】令和2年7月豪雨について

令和2年7月4日。熊本県南部は未明から朝にかけて局地的に猛烈な雨が降り、気象庁は4日4時50分に大雨特別警報を熊本県・鹿児島県に対して発表しました。

このとき熊本県天草・芦北地方や球磨地方付近には、幅約70km・長さ約280kmの大規模な線状降水帯が発生していました。この大きさは、2009年以降で九州に発生した中では最も規模が大きく、何より継続時間が最長のようなものでした。また、近年の豪雨と比べて最も背の高い積乱雲がこの線状降水帯を形成していました。その記録的な豪雨により、県南部を中心に河川の氾濫や土砂崩れなどの災害へと発展し、県内で死者65人、行方不明者2人、住宅の全半壊約4600棟など甚大な被害を出すこととなりました。昨今、地震に限らず、集中豪雨による自然災害が頻繁に起きている印象もあります。「備えれば憂いなし」とも言いますが、自然災害の発生はいつどこでどのような規模で起きるのかわかりません。備えていても・・と思うかもしれませんが、自分の命、大切な家族の命を守るためにも、常日頃からの情報収集と避難時の行動確認、避難物資の準備を怠らないようにしましょう。

【本校では】集中豪雨における洪水避難について

湧心館高校の周辺は、洪水時は地域の洪水ハザードマップの想定浸水域に該当し、浸水深は1.0m以上～3.0m未満とされています。登校後から下校前までの間に、洪水が発生した場合の湧心館高校の洪水時避難計画では、以下のように定めています。



- 1 生徒の皆さんは、各HR教室(全日制は西棟、定時制・通信制は東棟の2階以上)にて待機。
- 2 地域の方の避難があった場合は、平日昼間は東教室棟2階、平日夜間は西教室棟2階、休日は西教室棟2階（北側）以上を利用することになります。

大雨、台風、風水害、土砂災害時の熊本県の防災情報

◎熊本県HP内「防災情報総合案内」

<https://www.pref.kumamoto.jp/site/bousai-kumamoto/>

◎熊本県防災型統合システム → QRコードからも読み込めます。→

<http://www.bousai.pref.kumamoto.jp/>

◎熊本市防災サイト <https://www.city.kumamoto.jp/bousai/>

◎国土交通省「川の防災情報」 <https://www.river.go.jp/>



過去のぼうさい通信を見ることができます 本校HPにアクセスしてみよう

◎ぼうさい通信(毎月16日発行) <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>

